

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

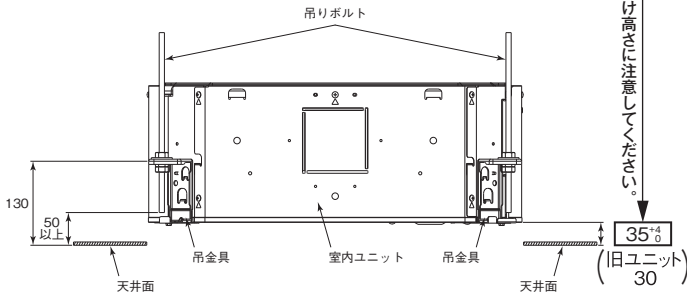
※ご使用前の注意点

- ①室内ユニットの据付け高さに注意してください。
また、本室内ユニットは旧ユニット(従来機)と据付け高さが異なるため、注意してください。

天井面から室内ユニットまでの据付け高さ

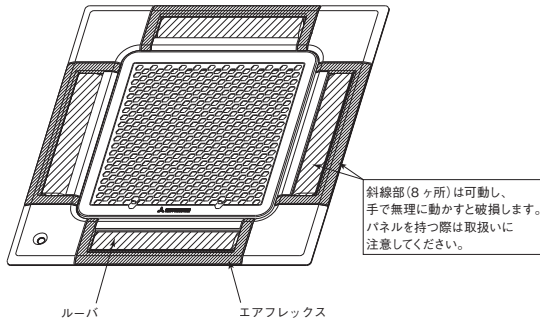
- 旧ユニット:30mm ⇒ 本ユニット:35^{±0.4}mm

据付け高さに注意してください。



※室内ユニットが上記の高さに据付けられていない場合、風漏れによる露付・霧垂れや天井面の汚れ発生の原因となります。

- ②ルーバおよびエアフレックスは無理に動かさなくてください。



警告

- 配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。



機能名称について

機能の名称の意味は下記のとおりです。

エアフレックス : ドラフト防止機能

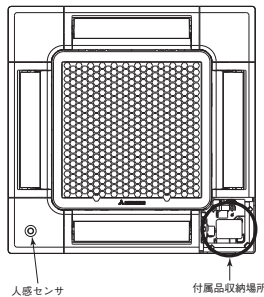
① 据付けの前に

- ・据付けはこの説明書に従って正しく行ってください。
- ・次の項目を確認してください。
- パネル・リモコンのタイプ
- 付属品

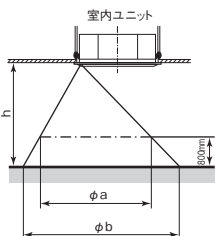
付属品

ボルト		4本	パネル取付け用
ストラップ		4本	コーナリッド落下防止用
グリルフック		1個	グリル落下防止用
ねじ		4本	コーナリッド固定用

注：付属品はコーナリッドを外した位置にあります。



人感センサ検知範囲の目安



天井高さ h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲① φa [m]	約4.5	約6.4	約7.6
検知範囲② φb [m]	約6.4	約8.3	約9.5

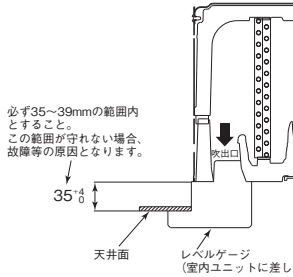
② 室内ユニットの据付け高さの確認

- ・室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。
- ・室内ユニットに付属されているレベルゲージで室内ユニット高さ及び天井開口寸法が正しいことを確認してください。
- ・室内ユニットと天井材との取付けレベルを確認してください。
- ・室内ユニット付属のレベルゲージを吹出口にセットし、室内ユニットの吊込み高さを調整してください。
- ・レベルゲージはパネル取付け前に取外してください。

注意

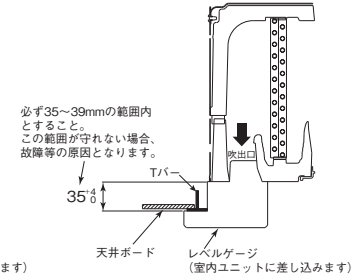
室内ユニットと天井材との高さは、パネル取付けの際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。パネルが変形し破損の恐れがあります。

<システム天井以外の場合>



必ず35~39mmの範囲内とすること。
この範囲が守れない場合、故障等の原因となります。

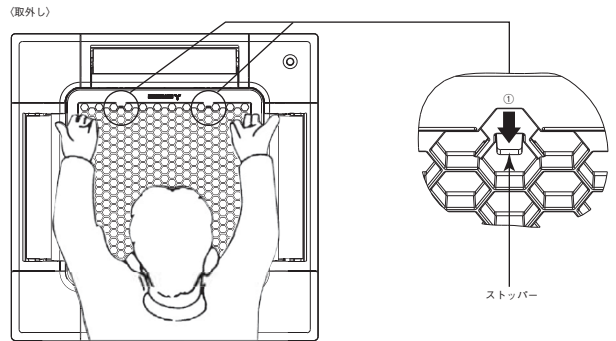
<システム天井の場合>



必ず35~39mmの範囲内とすること。
この範囲が守れない場合、故障等の原因となります。

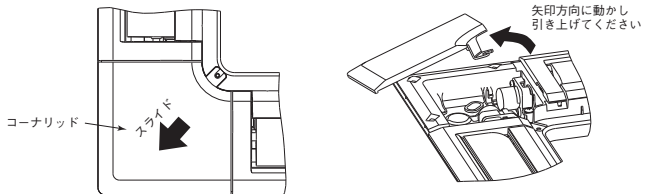
③ 吸込グリルの取外し

1. 吸込グリルのストッパー(2ヶ所)に指をかけて矢印①の方向に押し込ま吸込グリルを下方へ引くと吸込グリルが開きます。
2. 吸込グリルが開いた状態で吸込グリルのヒンジ部をパネルから外します。



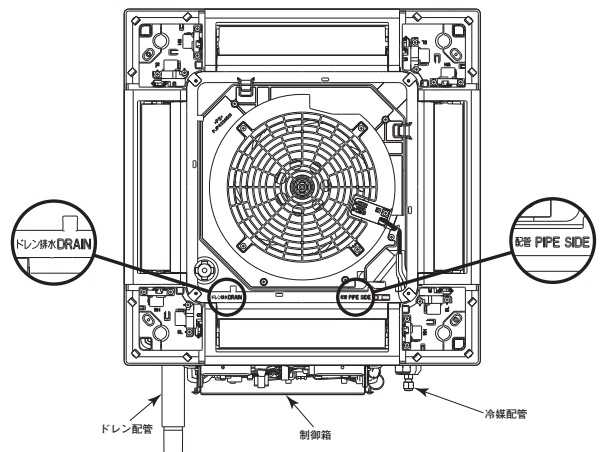
④ コーナリッドの取外し

- ・コーナリッドを矢印の方向へ移動させ取外してください。(4コーナとも)



⑤ パネルの取付け方向

- ・パネルの取付け方向は室内ユニットに対し方向性があります。
- ・パネルは、下図に示す方向で取付けてください。
- ・パネル吸込部の「ドレン排水」と室内ユニットのドレン配管の位置を合わせてください。
- ・パネル吸込部の「配管側」と室内ユニットの冷媒配管の位置を合わせてください。

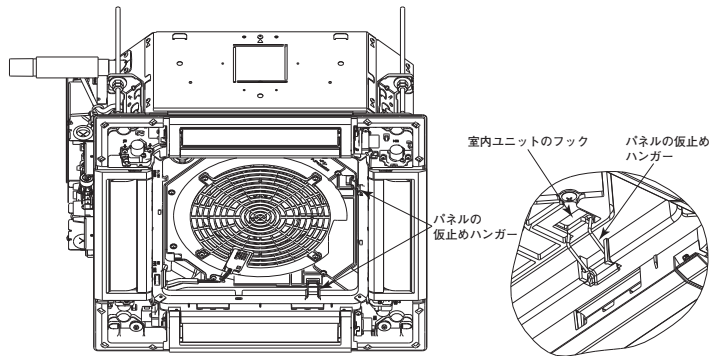


注意

・上図以外の方向で取付けると、風漏れの原因となり、また電気配線の接続ができません。

⑥ パネルの取付け

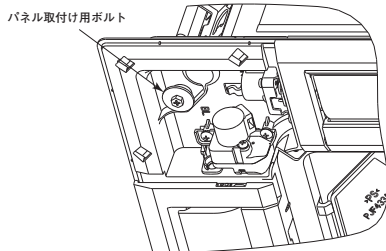
1. パネルの仮止め
 - ・パネルの仮止め用ハンガーを起こします。(2ヶ所)
 - ・パネルの仮止め用ハンガーを室内ユニットのフックにかけて、パネルを室内ユニットに吊るします。



2. パネルの室内ユニットへの固定
 - ・付属のパネル取付け用ボルト4本を用いて、室内ユニットに締め付けてください。

注意
人感センサ配線が噛み込まないように注意してください。

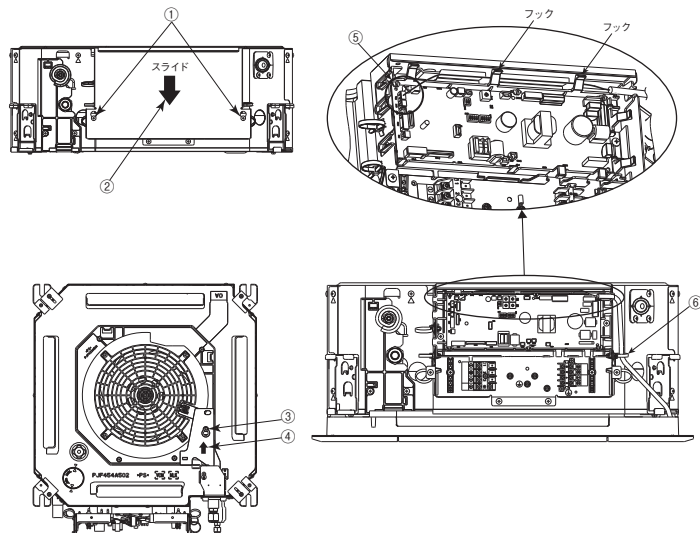
注意
・吊りボルトの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締め込んでください。
・吊りボルトを締め込んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニットの高さを再調整してください。



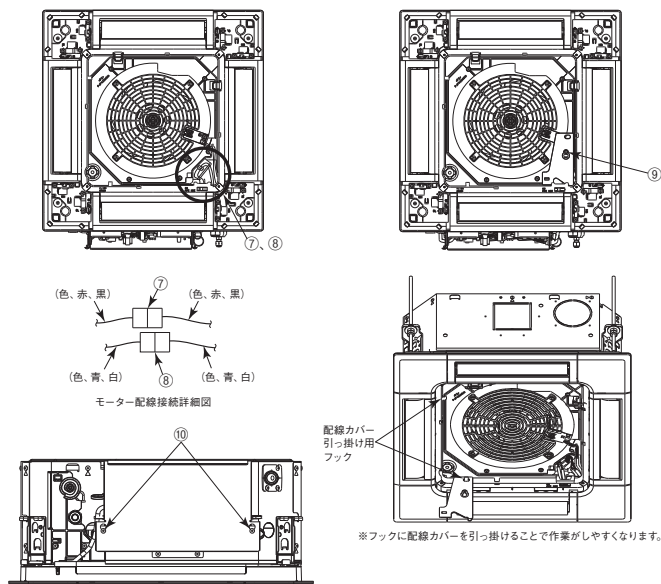
注意
パネル取付けの際、パネルに無理な荷重がかからないよう、室内ユニット据付け高さを調整してください。パネルが変形し、吸込グリル、エアフレックス部品が取まらないおそれがあります。

⑦ 電気配線

- ①ユニット本体の制御箱のねじ(2本)を緩めてください。
- ②制御箱の蓋を図の矢印方向にスライドさせて取外してください。
- ③配線カバーのねじを緩めてください。
- ④図の矢印方向に蓋をスライドさせて、配線カバーを外してください。
- ⑤人感センサ配線のコネクタを制御箱内の基板のCNL(3P, 黒)に接続してください。
- ⑥図のように人感センサ配線をバンドで固定してください。
- ⑦パネル側のルーバモータ配線(配線色:赤, 黒)のコネクタを、ユニット側のルーバモータ配線(配線色:赤, 黒)のコネクタCNJ3(20P, 白)に接続してください。
- ⑧パネル側のエアフレックスモータ配線(配線色:青, 白)のコネクタを、ユニット側のエアフレックスモータ配線(配線色:青, 白)のコネクタCNJ4(20P, 白)に接続してください。
- ⑨配線が噛み込まないように配線カバーを取り付け、ねじ(2本)で締め付けてください。
- ⑩配線を噛み込まないように制御箱の蓋を取り付け、ねじ(2本)で締め付けてください。

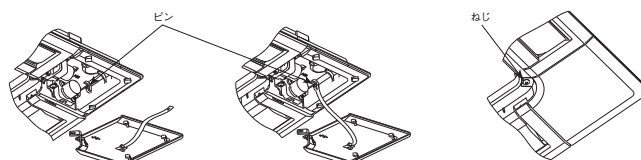


⑦ 電気配線のつづき



⑧ コーナリッドの取付け

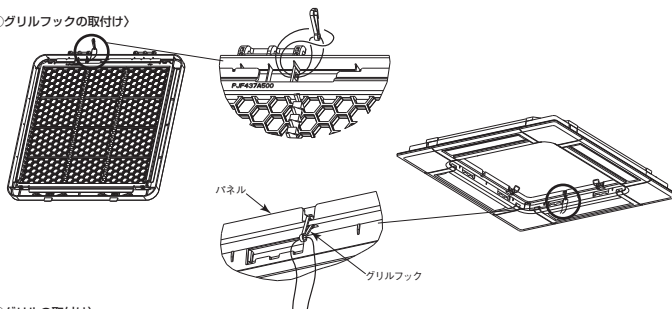
1. 付属のコーナリッド落下防止用ストラップをコーナリッドのピンに折り返して引っ掛けてください。
2. コーナリッドに取付けたストラップの反対側をパネルのピンに引っ掛けてください。
3. コーナリッドのつめ3ヶ所を、付属のねじで固定してください。



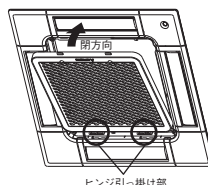
⑨ 吸込グリルの取付け

パネルと吸込グリルには方向性ありません。(吸込グリルのヒンジは4辺どこでも取付け可能です。)
吸込グリルの取付け方法は**⑩吸込グリルの取付け**の手順を逆に作業してください。
①グリルフックをパネルに取り付けてください。
②吸込グリルのヒンジをパネルのヒンジ挿入穴に取付けてください。
吸込グリルのヒンジを取付け後、ストッパー(2ヶ所)を押したまま、閉じてください。
両方のストッパーが確実にパネルに差し込まれていることを確認してください。

①グリルフックの取付け



②グリルの取付け



注意
・グリルフックは確実にパネル本体側に取付けてください。
・吸込グリルの取付けは、必ずヒンジ側から行ってください。
・吸込グリルは確実に取付けてください。取付けが不十分ですと落下する恐れがあります。
・ストッパーが変形・破損した場合は、速やかに修理依頼し、交換してください。吸込グリルが落下する恐れがあります。

⑩ パネルの設定

<ルーバの動作範囲設定(フリーフロー設定)>
ワイヤードリモコンを使用することで、吹出口のルーバの動作範囲を変更することができます。本モードで上限位置と下限位置を設定すると、ルーバは設定された上限位置と下限位置の間で動作します。各ルーバ毎に個別の動作範囲の設定が可能です。

<エアフレックスの設定>
エアフレックスパネルを取付け、配線接続をするだけではエアフレックスは作動しません。エアフレックスを作動させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、エレクトロニクスを設定を有効にしてください。(ワイヤードリモコンRC-DX3A, RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。)本モードで有効に設定すると運転開始時にエアフレックスが作動し、運転中は常時エアフレックスが開いています。また、停止時にエアフレックスは閉じます。各吹出口毎に有効/無効の設定が可能です。設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

<人感センサの設定>
エアフレックスパネルを取付け、配線接続をするだけでは人感センサは機能しません。人感センサを機能させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、人感センサの設定を有効にしてください。(ワイヤードリモコンRC-DX2, RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。)設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。